



the seven flowers of autumn
the beautiful wildflowers

秋の七草

【萩】はぎ

【薄】すすぎ

【桔梗】きぎょう

【女郎花】おみなえし

【藤袴】ふじばかま

【撫子】なでしこ

【葛】くず

萩の花

尾花 をばな

葛花 くずはな

なでしこの花

女郎花 をみなへし

また藤袴 ふぢはかま

朝顔の花 あさがほ

山上憶良 やまのうえのおくら

The seven flowers of autumn are
Bush clover, pampas grass, kudzu vine, fringed pink,
Golden lace, thoroughwort and balloon flower.

右の七草の歌が、五七七五七七であることにお気づきでしょうか。
この形の歌を旋頭歌せとうかと言います。万葉集以外ではあまり見かけない形式です。
波のようにたたみかけるリズムが、野に群れて咲く草花たちのようですね。

「秋の七草」の歴史は春の七草よりも古く、この万葉集が最初と言われています。
歌に「朝顔の花」とありますが、これは桔梗きぎょうの花であろうというのが一般的です。
現代の「朝顔」は、まだこの頃の日本ではめずらしく、海の向こうから
遣唐使が薬として持ち帰った特別な植物でした。まだ野の草ではなかったのですね。

秋は実りであると同時に、植物が少しずつ脱ぎ捨てていく季節でもあります。
風の音が軽くなり、徐々に夜が長くなり。空は高く、山は紅あかく。
そして、冬という静寂を迎える準備をしていきます。

昔から日本人は、野の草を愛してきました。
秋の七草もささやかな楽しみとして、きつと大切にされていたことでしょう。
日本の侘わび寂さびとは、不完全さの中にある美とも言われます。
何かが終わること、そして始まること。

秋の七草の静かな佇まいには、大和の人々の美学が感じられます。
ところで、みなさんはどのように秋の七草を覚えていますか。
私は頭文字をとって「花好きお福はなすきおふく」と覚えています。
お花で、全ての人たちに幸福を。今年も実りある秋になりますように。

（万葉集 巻八 一五三八）

花物語

比田井宗玉

